

6209 ^{kuraku}久楽世界の旅と心模様：京都のかおり・霜降月も終盤

.....

京都の年末年始の雑踏は、雰囲気があって楽しいのだが、
観光地では、すべてが写真家と言っては、過言になるものの、そうした方々や、
テレビ報道はじめ、発信は、おまかせ。久楽はマイペースで、時折、
固有名詞なしの、京都をご紹介します。下記は11月下旬の出会い。晩秋というのだろうか。



太陽の光をいっぱいを受けて・・・ 右は、木の先端だけ。
いつもながら、今、使用中のカメラでは、色彩が難しい。借景が違うと、
同じ木、同じ場所だろうかと、思ってしまう。失敗から学ぶ。



川面に映る紅葉。鵜の身繕^{みづくる}いのひと時

山はみどり 野に花 人にはこころ

メジロさんのお食事中に遭遇。これも一興。

どこでどんな出会いがあるかわからない。五感や感性は、四六時中活動。

視力の訓練にもなる。何よりも、自然を楽しみ、自然からパワーをもらえるので有難い。

11月の京都、今年は、お天気に恵まれて、外出が多い。

動けば動くほど、出会いがある。



鴨川の川原にて